支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:農業費 目:農業総務費 販売・連携推進課	
事業名	おいしい!広島推進事業(一部国庫)	 【新規】

目 的

広島サミットで高まった広島のプレゼンスを追い風として、本県の豊かな自然環境に育まれた多彩な食資産を活かし、瀬戸内の四季との相乗効果で、その価値・魅力をさらに高め、県内外から広く共感を獲得することで、広島のおいしいイメージを醸成し、ひろしまブランドの強化を図る。

事業説明

対象者

料理人(飲食店)、農林漁業者、国内外の消費者 等

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
県内における価値 向上と県民との共創	○食材や料理の価値・魅力を伝えることができる料理人等の育成 ・料理人に広島の優れた食材や酒の魅力を再認識してもらうため、 料理人と生産者との交流を行う研鑽会や有名シェフから学ぶ研修 会等の実施 ・実際の店舗において、料理人や店員、POP等を通じて、食材や 料理の魅力をストーリーとともに提供する取組を支援 〇県民とのおいしい広島の共創 ・研鑽会やストーリー構築・実証店舗における取組について、「お いしい!広島」特設サイトやSNSを通じた情報発信やキャンペ ーン等を開催	30, 000
県外における広島の 食の理解と共感の獲得	○首都圏における広島の食の魅力浸透・首都圏等において、県内の料理人による食イベントを開催し、発信力のあるインフルエンサーや評論家等によるSNSを通じた情報発信等を実施○海外への情報発信・HIT(一般社団法人広島県観光連盟)等と連携し、SNS等による情報発信を実施	70, 000
	h 計	100, 000

成果目標

○ 事業目標:①県民のおいしい共感度 (R5実績) 22.8% (R6目標) 23.0% (R8目標) 30.0% ②首都圏のおいしい共感度 (R5実績) 59.6% (R6目標) 60.0% (R8目標) 63.0%

※県の独自調査における質問項目「美味しさの宝庫である」において、

- ①「非常にそう思う」と回答した県民の割合 ②「非常にそう思う」もしくは「ややそう思う」と回答した首都圏在住者の割合

事業費 (単位:千円)

						財	源	内	訳			
	事	集 業	業	費	国 庫 支出金	分担金· 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		100	, 000	47, 399	0	0	0	0	287	0	52, 314	
前 年 度 当初予算額			0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金(47,399千円)

支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:畜産業費 目:畜産振興費 畜産課
事業名	広島和牛ブランド構築事業(一部国庫)

目 的

広島和牛を食べる場の創出や、味の特長の調査など、本県の独自性等を活かした付加価値向上に取り組むことにより、広島和牛の「ひろしま」ブランドとしての強化を図る。

事業説明

対象者

畜産経営体、飲食店 等

事業内容

(単位:千円)

	内 容	今回予算額
広島和牛ブランド 構築事業	○食べる場づくり・流通の円滑化 ・取扱店舗の拡大に向け、県内高級飲食店における定期提供(6店舗程度/回、年2回)を実施 ・全ての部位が有効活用されるよう、瞬間冷凍技術などの長期保存技術の活用や料理人等と連携した加工品開発等を支援 ○広島和牛の魅力を訴求するための飼養管理方法の開発 ・令和5年度までの結果を踏まえ、おいしさに関わる成分を高めるための調査・開発を実施 ○広島和牛の認知向上に向けたPR ・様々な媒体を活用した継続的な情報発信や、県内を中心とした観光業と連携したイベントを実施	43, 585

成果目標

〇 事業目標 : 新規提供店舗数 (累計) (R4実績) 17店舗 (R6目標) 30店舗

○ ワーク : 63 持続可能な広島和牛生産体制の構築 ○ ワーク目標: 肥育経営における比婆牛飼養頭数 (R4実績) 408頭 (R6目標) 720頭 (R7目標) 800頭

事業費 (単位:千円)

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算客	Ą	43,	585	6, 033	0	0	0	0	0	0	37, 552
前年月当初予算客		38,	324	7, 946	0	0	0	0	0	0	30, 378

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金(6,033千円)

支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:水産業費 目:水産業振興費 水産課
事業名	瀬戸内さかなブランド化推進事業(一部国庫)

目 的

瀬戸内の魚が持つ強みや特長を生かした広島の食のブランド化の取組を推進し、認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上を図るとともに、持続的な沿岸漁業の構築を目指す。

事業説明

対象者

県内漁業者、市場流通関係者、飲食店 等

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
瀬戸内さかなブランド 化推進事業 瀬戸内 さかな	○飲食店における営業実証 ・季節ごとの瀬戸内さかなを満喫できるコース料理等を開発・提供する店舗の拡大 ・調達から料理提供までの流通課題を解決するための支援 ○瀬戸内さかなの魅力を生かした商品開発 ・営業実証に参加した飲食店における食体験など、瀬戸内さかなの魅力に触れる広島周遊モデルの企画、試行 ○瀬戸内さかなのブランド化に向けた情報発信及び連携体制の強化・顧客視点に立った魅力ある情報発信の実施 ・広島の水産関係者と流通、飲食等関係者との連携体制強化 ※瀬戸内さかな:瀬戸内海で獲れる多様な魚介類を表す総称として令和5年4月にネーミング	20, 000

成果目標

〇 事業目標 : 取組参加店舗数 (累計) (R4実績) 12店 (R6目標) 30店

○ ワーク : 67 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築 ○ ワーク目標: I C T 漁獲技術導入地区数 (累計) (R4実績) O地区 (R6目標) 4地区 (R7目標) 6地区

事業費 (単位:千円)

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金 · 負担金	使用料· 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		20	, 000	4, 500	0	0	0	0	0	0	15, 500
前 年 度当初予算額		18	, 000	7, 500	0	0	0	0	0	0	10, 500

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金(4,500千円)

支出科目	款:農林水産業費	項:農業費	目:高付加価値型農業推進費
担当課	販売・連携推進課		
事業名		食のイノイ	ベーション推進事業(単県)

目 的

農林漁業者と多様な業種の企業が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、広島の誇る新商品や新サービスの提供等、新たなビジネスを創発する取組を進めることにより、農林漁業者の「稼ぐ力」を高める。

事業説明

対象者

農林漁業者、飲食業者、食品加工業者、流通業者 等

事業内容

(単位:千円)

		\ \ \ \— \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	内容	今回予算額
食のイノベーション 推進事業	○プロジェクトの立ち上げと新たなビジネスの実現 ・農林漁業者と企業のマッチング及びプロジェクトの実行計画の作成支援 ・新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決と現地実証に係る経費の支援 【新規採択件数】3件 【支援期間】最長3年	50, 000

成果目標

○ 事業目標 : 本事業によりバリューチェーンを構成して経営発展に取り組む経営体数

(R4実績) 8経営体 (R6目標) 6経営体

〇 ワーク : 58 地域の核となる企業経営体の育成 〇 ワーク目標:企業経営体数 (R4実績) 29経営体 (R6目標) 41経営体 (R7目標) 54経営体

							財	源	内	訳		
		事	業	費	国 庫 支出金	分担金• 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今	回予算額	i	50,	000	0	0	0	0	0	0	0	50, 000
前当	年 度 初 予 算 額		50,	000	0	0	0	0	0	0	0	50, 000

支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:農業費 目:農業経営強化対策費 農業経営発展課
事業名	経営力向上支援事業(一部国庫)【一部新規】

目 的

経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、経営発展意欲が高い担い手に対 し、企業経営への転換に向けた支援に取り組む。

事業説明

対象者

経営発展及び企業経営を目指す経営体

事業内容

(単位:千円)

		(单位:十门)
	内容	今回予算額
企業経営化支援	○企業経営実践支援・人材育成、予算・実績管理など担い手の重点課題の解決に向け、 専門家等を派遣	41, 796
正未祀占记文版	〇先進経営体研修 ・企業等が実践しているマネジメント手法を学ぶ研修を実施	8, 229
雇用型経営支援	〇雇用型経営発展支援 ・雇用型経営に向けた経営計画のブラッシュアップ及び実行のため の伴走支援を実施	8, 900
【新規】	〇経営体の雇用確保支援 ・雇用就農の定着率を向上させるための「お試し雇用」を支援	22, 528
ひろしま農業 経営者学校	○経営者意識の醸成、経営スキルの向上 ・経営ビジョンの策定や、経営の発展段階に応じた経営・雇用管理 の知識を習得する講座を実施	22, 573
経営データの 一元管理	○電子カルテシステムの運用 ・経営体への効果的な支援内容の決定等のため、経営課題の見える 化等を可能にする電子カルテシステムを運用・改善	2, 299
	合 計	106, 325

成果目標

〇 事業目標 : 企業経営を実践するための仕組みが導入された経営体数

(R4実績) 9経営体/年 (R6目標) 5経営体/年

雇用型経営に向けた計画を作成し実行している経営体数

(R4実績)-(R6目標) 8 経営体/年

雇用就農マッチング促進事業により雇用した経営体数

(R4実績) -(R6目標) 20経営体/年

○ ワーク : 58 地域の核となる企業経営体の育成○ ワーク目標:企業経営体数 (R4実績) 29経営体 (R6目標) 41経営体 (R7目標) 54経営体

事業費 (単位:千円)

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		106, 32	25	26, 791	0	0	0	0	614	0	78, 920
前 年 度 当初予算額		89, 12	26	15, 000	0	0	0	0	514	0	73, 612

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金(11,264千円)

支出科目	款:農林水産業費 項:農業費 目:農業経営強化対策費
担当課	農業経営発展課
事業名	ひろしま型スマート農業推進事業(単県)【一部新規】

目 的

広島県の中山間地域に対応した、ひろしま型スマート農業技術を確立するとともに、これらを活用した経営モデルを構築し、普及させることにより、生産性の高い農業の実現を図る。

事業説明

対象者

農業経営体、農機メーカー、農業協同組合、市町 等

事業内容

(単位:千円)

		(辛四・111)
	内 容	今回予算額
ひろしま型スマート 農業推進事業 【一部新規】	 ○現地実証試験の実施 ・普及可能性の高い技術テーマを選定し、実証試験を実施 ・農業経営体と連携し、技術導入に向けた課題を抽出 ○コンソーシアムによる技術の検討 ・メーカーや専門家等とコンソーシアムを組織 ・実証試験で抽出された課題を解決し、中山間地域に対応したスマート農業技術に改良 ・改良した技術の普及に向け、経営モデルを検討、構築 ○担い手への普及【新規】 ・構築した経営モデルの普及に向け、アドバイザーを活用した伴走支援を実施 ※コンソーシアム:互いに力を合わせて目的を達しようとする人の集まり 	144, 155

成果目標

O 事業目標 : 経営モデル数 (R4実績) O (R6目標) 6

I o P クラウド利用経営体数 (R4実績) O 経営体 (R6目標) 25経営体

〇 ワーク : 59 スマート農業の実装等による生産性の向上

〇 ワーク目標:スマート農業の活用割合 (R4実績) 9% (R6目標) 13% (R7目標) 15%

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金· 負担金	使用料· 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		144,	155	0	0	0	0	0	307	0	143, 848
前 年 度 当初予算額		177,	500	48, 000	0	0	0	0	0	0	129, 500

支出科目 担当課	款:農林水産業費 水産課	項:水産業費	目:水産業振興費	
事業名		水産業スマ	アート化推進事業	(単県)

目 的

デジタル技術を活用したかき養殖の生産安定化及び海面漁業の操業効率化並びに水産資源回復に向けた漁場環境改 善等により、かき及び瀬戸内の魚を安定的に供給する体制の構築を目指す。

事業説明

対象者

漁業者

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
かき養殖における デジタル技術の活用	○水産プラットフォームの高度化及び運営・保守管理 ・水温及び餌料センサーの配置場所の最適化 ・汎用クラウドを利用したプラットフォームの運営・保守管理 ○水産プラットフォームを活用した効率的な生産の普及 ・水温データを活用したへい死防止対策の情報発信 ・収穫適期の予測を活用した身入りの良いかきの安定生産指導 ※水産プラットフォーム:本事業において構築した、かき養殖に必要な水温等の漁場環境データや採苗に必要なかき幼生調査データ、生産出荷情報などを集積し、生産者が携帯端末から利活用できるシステム	15, 000
海面漁業における デジタル技術の活用	○ICT漁獲技術の実証 ・小型底びき網漁における水中障害物情報等の共有による操業リスクの回避や小型定置網漁における網の遠隔監視等による操業の効率化 ○技術習得支援 ・ICTを活用した操業の見える化により蓄積されたデータを用いた新規漁業者研修プログラムの開発	6, 000
水産資源の回復	〇海底耕うん後の環境改善効果の検証 ・底質や底生生物等の調査 〇ガザミ、キジハタの集中放流	17, 860
_	合 計	38, 860

成果目標

〇 事業目標 : かきデータ活用地区数 漁場環境改善検証モデル地区数 (R4実績) 3地区 (R4実績) 2地区 (R6目標) 5地区 (R6目標) 2地区

〇 ワーク : 66 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築

67 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

〇 ワーク目標:水産エコラベル認証の取得地区数 (累計)

(R4実績) 1地区 (R4実績) 0地区 (R6目標) 4地区 (R6目標) 4地区 (R7目標) 5地区 (R7目標) 6地区 I C T 漁獲技術導入地区数 (累計)

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料· 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		38, 8	360	0	0	0	0	0	0	0	38, 860
前 年 度 当初予算額		42, 3	360	14, 715	0	0	0	0	0	0	27, 645

	支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:水産業費 目:水産業振興費 水産課
ı	事業名	栄養塩類対策調査費(単県)

目 的

令和4年4月1日に改正瀬戸内海環境保全特別措置法が施行されたことにより、栄養塩類管理計画を策定すること で、あらかじめ指定した海域において、適切な管理の下で栄養塩類を増加させるための措置を講じることが可能と なったことを踏まえ、栄養塩類の増加と水産資源の回復との関連性を確認するための実証試験を実施する。 ※栄養塩類:植物プランクトン等の生育に必要な窒素、リンなどを含む化合物

事業説明

対象者

漁業者

事業内容

(単位:千円)

		\ + + · · · ·
	内 容	今回予算額
栄養塩類対策調査費	○能動的管理運転による栄養塩類の増加と水産資源の回復との関連性を確認するための実証試験として、試験区域の栄養塩類濃度や対象水産生物の重量等を調査 【調査期間】令和6年10月~令和7年3月 【対象水産生物】カキ ※能動的管理運転:下水処理放流水に含まれる栄養塩類の濃度を高めて下水処理施設を運転すること	13, 000

成果目標

○ 事業目標 : 実証試験実施箇所数 (R4実績) - (R6目標) 3 地区
 ○ ワーク : 67 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築
 ○ ワーク目標: I C T 漁獲技術導入地区数(累計) (R4実績) 0 地区 (R6目標) 4 地区 (R7目標) 6 地区

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金• 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		13,	000	0	0	0	0	0	0	0	13, 000
前 年 度 当初予算額		11,	000	0	0	0	0	0	0	0	11, 000

支出科目 担当課	款:農林水産業費 水産課	項:水産業費	目:水産業振興費	
事業名		夏かき	産地育成事業	(単県)

目 的

これまでシーズンオフだった夏場に広島かきを出荷できる産地を育成するため、県東部地区において、出荷前に殻付きかきの身入りを評価できる技術の実装に取り組むことにより、夏かきの高付加価値化による収益性向上を図ると ともに、生産規模の拡大を推進する。

事業説明

対象者

県東部地区の夏かき生産者

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
夏かき産地育成事業	〇夏かきの品質向上に向けた取組 ・県立総合技術研究所水産海洋技術センターで開発された、殻付き かきの身入りが出荷前に評価できる非破壊品質評価技術の実装に 向け、現地実証を実施	10, 233

成果目標

○ 事業目標 : かき筏台数 (R4実績) ○ ワーク : 66 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築 (R4実績) 10台 (R6目標) 16台

○ ワーク : 66 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築 ○ ワーク目標:東部海域の生食用殻付きかき生産量 (R4実績) 23トン (R6目標) 49トン (R7目標) 80トン

						財	源	内	訳		1
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		10,	233	0	0	0	0	0	0	0	10, 233
前 年 度当初予算額		10,	233	2, 250	0	0	0	0	0	0	7, 983

	支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:林業費 目:森林整備費 林業課
l	事業名	森林経営管理推進事業(単県)

目 的

所有者の施業意思がない森林や、所有者の特定が困難な森林など、既存の取組では所有者自らが経営管理できてい ない森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を活用し、森林整備及びその促進を図るための支援を行う。

事業説明

対象者

市町、林業就業者、林業経営体 等

事業内容

2,3は【森林環境譲与税基金充当】

(単位:千円)

内容	今回予算額
1 基金積立 〇森林環境譲与税基金への積立	128, 190
森林集積活動に	7, 493
県による市町への ○森林経営管理制度を活用し取組を進める市町に対する 支援 支援	15, 404
市町職員に対する	9, 702
小 計	32, 599
リーディングモデルと 〇外部専門家を活用し、長期的な森林経営に向けて経営改 なる林業経営体の育成 善に取り組む林業経営体を支援	18, 980
林業経営者等へのマネ 〇林業経営体の各階層に対し、組織経営や人材育成、中長 ジメント研修 期の森林経営の計画立案等に係る研修を実施	12, 540
就業希望者・新規就業 〇林業へ転職希望する者に対し、相談から就業・定住まで 者に対する個別支援 一貫した支援を行うとともに、就業者確保に向けて活動	15, 477
3 林業経営 体支援	32, 815
○建築士や建築系の学生を対象に、木造に関する知識・技術を習得するためのセミナーの開催 木材利用促進 ○木造建築物に係る相談窓口の設置 ○県産材製品の製造事業者等に対する、新製品の開発や販路開拓に係る経費の支援	20, 739
小計	100, 551
合 計	261, 340

成果目標

:マネジメント研修を受講した経営体数 〇 事業目標 (R4実績) 18社 (R6目標) 22社

住宅以外の建築物における県産材利用量(住宅以外の建築物)

(R4実績) 1.4万㎡ (R6目標) 1.7万㎡

: 64 森林資源経営サイクルの構築 65 森林資源利用フローの推進 〇 ワーク

〇 ワーク目標:経営力の高い林業経営体数

建築物等の県産材利用量

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金 • 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		261,	340	0	0	0	2	133, 150	0	0	128, 188
前 年 度 当初予算額		263,	989	0	0	0	1	135, 800	0	0	128, 188

支出科目 担当課	款:農林水産業費 森林保全課、林業課	項:林業費	目:森林整備費
事業名		ひろし	まの森づくり事業(単県)

目 的

県民共有の財産である森林を県民全体で守り育てる事業を推進することにより、県民全体が享受している県土の保 全や水源かん養などの公益的機能の持続的な発揮を図る。

事業説明

対象者

市町、森林所有者、住民団体、森林ボランティア団体、企業 等

事業内容

2~4は【7トろしまの森づくり基金充当】

(単位:千円)

۷,	てもは 1000	なの林 ノくり基並尤ヨ』	(单位、十门)
		内容	今回予算額
1	基金積立	〇ひろしまの森づくり基金への積立	885, 023
2	県補助金 事業	〇放置された人工林のうち、県民生活への影響が大きい森林の間伐 〇木造建築物における県産材の利用拡大 等	425, 388
		○里山林における環境改善・防災・鳥獣害対策等を目的とした森林整備 ○森林・林業体験活動、木育活動 ○森林保全活動団体、地域住民団体の育成 等	340, 000
3	交付金 事業	〈特認事業枠〉市町等が特に提案して実施する場合の特別枠 ○住民団体による自主的・継続的な森林保全活動 ○市町域を超えた広域的な森林・林業体験活動 ○里山林の課題解決を推進するため市町が作成する整備方針に基づき行う 整備	170, 000
4	県実施 事業	〇税の趣旨や事業内容に対する県民理解の促進、森づくり活動に関心を高 めるための広報 等	20, 729
		合 計	1, 841, 140

成果目標

〇 事業目標 : 手入れ不足の人工林の間伐面積 (R4実績) 562ha/年 (R6目標) 760ha/年

里山林を活用しながら管理する団体数 (R4実績) 93団体 (R6目標) 102団体

木造建築物における県産材利用量(住宅、住宅以外の建築物) (R4実績) 7.7万㎡

:65 森林資源利用フローの推進

(R4実績) 19.1万㎡ (R4実績) 8.1万㎡ (R7目標) 20.5万㎡ (R7目標) 8.8万㎡ 〇 ワーク目標:安定供給協定による取引量 (R6目標) 20.0万㎡

建築物等の県産材利用量 (R6目標) 8.5万㎡

(R6目標) 8.0万㎡

					財	源	内	訳		
	事業	費	国 庫 支出金	分担金• 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	1, 8	41, 140	0	0	0	23	955, 810	307	0	885, 000
前 年 度 当初予算額	1, 8	90, 305	0	0	0	8	1, 008, 039	258	0	882, 000

支出科目	款:農林水産業費 項:畜産業費 目:家畜保健衛生費	
担当課	畜産課	
事業名	重大な動物感染症対策事業(一部国庫)	【新規】

目 的

重大な動物感染症の発生に備え、農場の分割管理を適切に行うための施設整備等を支援することにより、高病原性 鳥インフルエンザ等重大な動物感染症のまん延防止を図る。 ※分割管理:重大な動物感染症の発生時の感染拡大リスクを低減させるため、施設及び飼養管理を完全に分けるこ

とにより農場を複数に分割すること

事業説明

対象者

畜産経営体

事業内容

(単位:千円)

		(+ i · i i)/
	内 容	今回予算額
重大な動物感染症対策 事業	〇農場の分割管理に必要となる設備等(車両消毒施設、更衣室、農場境界柵、堆肥舎等)の整備に対する支援 【補助率】1/2以内	65, 442

成果目標

〇 事業目標:畜産経営体における重大な動物感染症のまん延防止

					財	源	内	訳		
	事業	費	国 庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	6	5, 442	65, 220	0	0	0	0	0	0	222
前 年 度当初予算額		0	0	0	0	0	0	0	0	0

支出科	↓目 │款:農林水産業費	項:水産業費 目:	水産業振興費	
担当護	₹ 水産課			
事業名	かき殻有効	加活用対策推進	事業(一部国庫)	【一部新規】

目 的

肥料価格高騰や鳥インフルエンザ等の影響により、肥料や飼料向けの加工量が減少するなど需要が低迷しているかき設について、新たな有効活用法を確立するとともに、漁場の環境改善等の取組へ積極的に活用することにより、水産資源の増大を図る。

事業説明

対象者

漁業者、民間事業者

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
海砂採取跡地への活用 【新規】	〇水深を嵩上げすることにより漁場環境の改善が見込まれる、海砂 採取跡地での活用に向け、工事に先立って必要な試験施工や増殖 効果の調査手法等を検討するとともに、投入量に対する費用積算 を実施	5, 000
増殖場への活用	〇かき殻を用いて試験的に造成した増殖場について、工事の本格実施の際に必要な設計基準の設定及び水産生物の増殖効果を把握するための現地調査を実施 ※増殖場:水産生物の保護育成等を目的とし、餌場や隠れ場等の機能を有する人工施設	28, 000
底質改善への活用【新規】	〇かき養殖業者が主体となってかき殻を用いた底質改善が実施できるよう、文献や実証試験をもとに、海域へのかき殻の投入方法等に関するガイドラインを策定	20, 000
_	合 計	53, 000

成果目標

〇 事業目標:かき殻の有効活用法の確立

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金 • 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		53,	000	14, 000	0	0	0	0	0	0	39, 000
前 年 度 当初予算額			0	0	0	0	0	0	0	0	0

支出科目 担当課	款:農林水産業費 水産課	項:水産業費	目:水産業振興	.費		
事業名		クラゲ被害	対策事業(単	单県)	【新規】	

目 的

近年、瀬戸内海で大量発生しているミズクラゲの被害軽減に向けて、発生源の調査や効果的な駆除方法等について 検討を行い、瀬戸内の魚を安定的に供給する体制の構築を目指す。

事業説明

対象者

漁業者

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
クラゲ被害対策事業	○ポリプの効果的な駆除方法を探るため、実態調査の手法や対策の方向性を専門家と連携して検討○ICTを活用したクラゲ発生情報の共有と駆除器具との組み合わせによる効率的なクラゲ駆除方法の実証※ポリプ:卵から発生した幼体が岩などの固形物に付着した形態	9, 000
	で、その後分裂・増殖して春にクラゲとなる。	

成果目標

○ 事業目標:ミズクラゲの発生源や効果的な駆除方法等の検討

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金 · 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		9,	000	0	0	0	0	0	0	0	9, 000
前 年 度 当初予算額			0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和5年度2月補正

	支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:農業費 目:農業総務費 販売・連携推進課
ı	事業名	輸出促進施設等整備支援事業(一部国庫)

目 的

輸出先国の規制や輸出先のニーズに対応するための施設や機器の整備等を支援することにより、県内食品事業者等による輸出の維持・拡大を図る。

事業説明

対象者

県内食品事業者

事業内容

(単位:千円)

	内容	今回予算額
輸出促進施設等整備 支援事業	〇輸出を行う県内食品事業者に対する支援 ・輸出先が求める衛生基準に対応するために必要な施設や機器の整備 ・食品安全に関する国際規格の認証に係る審査等 【補助率】1/2以内	14, 848

成果目標

(R4実績) 1件 (R6目標) 1件

○ 事業目標 : 輸出ニーズに応じた施設等の整備数 ○ ワーク : 58 地域の核となる企業経営体の育成 ○ ワーク目標:企業経営体数 (R4実績) 29経営体 (R6目標) 41経営体 (R7目標) 54経営体

					財	源	内	訳		
	事	業費	国 庫 支出金	分担金• 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	Ę	14, 848	14, 833	0	0	0	0	0	0	15
現計予算額	Į	315, 650	315, 643	0	0	0	0	0	0	7

令和6年度当初予算・令和5年度2月補正

	事業名	農産物生産供給体制強化事業(一部国庫)
١	担业課	曲 坐 经 举 及 屈 語
Ī	支出科目	款:農林水産事業費 項:農業費 目:高付加価値型農業推進費

目 的

担い手の園芸作物の導入等による経営発展や、農業資材の価格高騰等による外部環境リスク等に対応し得る経営構 造への転換を推進し、農業経営の規模拡大を図る。

事業説明

対象者

市町等(農業者の組織する団体、認定農業者等)

事業内容

(単位:千円)

		今回-	予算額
	内容	令 和 5 年 度 2月補正予算	令和6年度 当初予算
産地競争力 強化事業	[当初]・[2月補正] ○産地の基幹施設の整備 【補助率】1/2以内 【実施主体】農業者の組織する団体 ○スマート農業機械等の整備 【補助率】1/2以内 【実施主体】農業支援サービス事業体 [当初] ○園芸産地における収益力強化に向けた生産施設等の整備 【補助率】定額、1/2以内 【実施主体】認定農業者等 ○麦・大豆等畑作物の生産性向上に向けた取組及び農業機械の整備 【補助率】定額、1/2以内 【実施主体】農業者の組織する団体等	79, 250	113, 672
経営体育成 支援事業	[当初]・[2月補正] 〇生産の効率化等に取り組む担い手による農業機械・施設の整備 【補助率】3/10以内(上限300万円、ただし、より高い目標と経営 発展に取り組む場合:個人1,000万円、法人1,500万円) 【実施主体】市町(認定農業者等)	26, 084	4, 015
資源循環型 肥料活用促 進事業	〇県内で多く産出される鶏糞の有効利用などによる、輸入資材に過度 に依存しない農業の確立に向け、鶏糞ペレット堆肥の適正施用量の 基準作成及び他資材との混用など新たな施用法等の実証	_	4, 000
	合 計	105, 334	121, 687

成果目標

〇 事業目標 : 本事業により規模拡大を行った経営体数

(R4実績) 11経営体/年(R6目標) 8経営体/年

○ ワーク : 58 地域の核となる企業経営体の育成 ○ ワーク目標:企業経営体数 (R4実績) 29経営体 (R6目標) 41経営体 (R7目標) 54経営体

					財	源	内	訳		
		事業費	国 庫 支出金	分担金· 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回	令和6年度 当初予算	121, 687	82, 819	0	0	0	0	34, 815	0	4, 053
予算額	2月補正予算	105, 334	105, 334	0	0	0	0	0	0	0
令 和 当 初		40, 803	40, 776	0	0	0	0	0	0	27

令和5年度2月補正

	支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:畜産業費 目:畜産振興費 畜産課
l	事業名	畜産競争力強化対策事業(一部国庫)

目 的

畜産経営体の生産基盤の整備により、畜産物の国際化の進展に備えた収益性の高い畜産経営体の育成を図る。

事業説明

対象者

畜産経営体

事業内容

(単位:千円)

		(十四・111/
	内容	今回予算額
畜産競争力強化対策 事業	〇生産合理化による経営力向上を図るための施設整備に対する支援 【補助対象】採卵鶏舎及び附帯設備 【補助率】1/2以内	14, 888

成果目標

〇 事業目標: 畜舎の整備による畜産経営体の経営力向上

						財	源	内	訳		
	事	業	費	国 庫 支出金	分担金· 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額		14, 8	388	14, 853	0	0	0	0	0	0	35
現計予算額			0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和6年度当初予算・令和5年度2月補正

支出科目 担当課	款:農林水産業費 項:林業費 目:森林整備費 林業課
事業名	林業・木材産業等競争力強化対策事業(一部国庫)

目 的

県産材の安定的・効率的な供給体制の構築に向け、川上から川下までの総合的な取組を行うことにより、林業・木材産業の成長産業化を実現する。

事業説明

対象者

市町、林業経営体、木材関連事業者等

事業内容

(単位:千円)

			(+ 2 . 1 1/
		今回-	予算額
	内容	令 和 5 年 度 2月補正予算	令和6年度 当初予算
林業生産基盤強化 対策	○県産材の安定供給のための搬出間伐、路網整備、高性能林業機械の導入、採種園の整備を支援 【補助率】定額、1/3以内 【実施主体】市町、林業経営体	124, 106	20, 643
木材産業生産基盤 強化対策	〇県産材の利用拡大に向けた加工流通施設の整備を支援 【補助率】1/2以内 【実施主体】木材関連事業者	155, 965	_
	合 計	280, 071	20, 643

成果目標

O 事業目標 : 主伐及び間伐の生産性 (R4実績) 8.9 m²/人日 (R6目標) 8.8 m²/人日

木造建築物における県産材利用量(住宅、住宅以外の建築物)

(R4実績) 7.7万㎡ (R6目標) 8.0万㎡

O ワーク : 64 森林資源経営サイクルの構築 65 森林資源利用フローの推進

○ ワーク目標:経営力の高い林業経営体数 (R4実績) 9社 (R6目標) 13社 (R7目標) 15社

安定供給協定による取引量 (R4実績) 19.1万㎡ (R6目標) 20.0万㎡ (R7目標) 20.5万㎡ 建築物等の県産材利用量 (R4実績) 8.1万㎡ (R6目標) 8.5万㎡ (R7目標) 8.8万㎡

					財	源	内	訳		
		事業費	国 庫 支出金	分担金· 負担金	使用料• 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回	令和6年度 当初予算	20, 643	20, 471	0	0	0	0	0	0	172
予算額	令 和 5 年 度 2月補正予算	280, 071	279, 971	0	0	0	0	0	0	100
令 和 当 初		30, 758	30, 511	0	0	0	0	0	0	247

令和6年度当初予算・令和5年度2月補正

款:県営林事業費 項:県営林事業費 目:経営事業費 支出科目 款:県営林事業費 項:県営林事業費 目:管理事業費 款:農林水産業費 項:林業費 目:森林整備費

担当課 森林保全課

事業名 **県営林事業費特別会計(一部国庫)**

目 的

県営林長期管理経営方針に基づき、計画的な森林整備と木材の生産・販売を通じて、県土の保全やその他の森林の持つ公益的機能の維持発揮及び木材の安定的な供給を図る。

事業説明

対象者

県

事業内容

(単位:千円)

				(中位・111)		
		·	今回予算額			
	内	容	令 和 5 年 度 2月補正予算	令和6年度 当初予算		
		T	2万洲亚 7 升	コ 701 17 升		
	県営林木材生産事業	利用間伐 (220ha) 、主伐 (90ha) 、 作業道開設 (48km) 等	130, 601	365, 270		
経営事業費	県営林保育管理等事業	_	78, 069			
		小 計	130, 601	443, 339		
管	理事業費	地方公共団体金融機構償還金 等	_	122, 845		
	特別:	会計合計	130, 601	566, 184		
一般 県営林事	業費特別会計繰出金	一般会計からの県営林事業費特別会計への 繰出	_	109, 259		

成果目標

O 事業目標:素材生産量の確保 (R4実績) 50,072㎡ (R6目標) 48,000㎡

	$\overline{}$								財	源	į	内	訳																																
				/	事業費	国 庫 支出金	分担金 · 負担金	使用料· 手数料	財産収入	繰入金	繰越金	諸収入	県債	一般財源																															
今	令和	116年	度	特別会	計	566, 184	50, 499	0	0	327, 446	109, 259	77, 000	1, 980	0	0																														
回予	当	初予	算	一般会			0	0	0	0	0	0	0	0	109, 259																														
算額	令 利 2 月	□ 5 年 補正予	度算	特別会	計	130, 601	130, 601	0	0	0	0	0	0	0	0																														
令	和 5	5 年	 5 年 度	度	特別会	計	623, 054	61, 251	0	0	356, 464	120, 062	82, 488	2, 789	0	0																													
当	初う			予 算 額		予算客		予算		予算額		予算額		予算額		予算を		予 算 着		予 算		予算額		予算額		予算額		多算額		算額		算 額		一般会		120, 062	0	0	0	0	0	0	0	0	120, 062

公 共 事 業

(令和6年度当初予算・令和5年度補正予算)

農林水産局

I 基本的な考え方

令和3年7月・8月豪雨災害等からの早期の復旧・復興に全力で取り組む。 また、「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、生産性 の高い持続可能な農林水産業の確立に向け、人口減少や物価高騰などの社会経済 情勢の変化も踏まえた基盤整備を実施するとともに、ため池の総合対策や山地災 害防止対策などの防災・減災に向けた取組を着実に推進する。

Ⅱ 公共事業予算概要

① 通常分

「2025広島県農林水産業アクションプログラム」を着実に推進するため、国の 概算決定の状況を踏まえ、所要額を計上する。

② 復旧・復興分(並びに災害復旧事業)

令和3年7月・8月豪雨災害等に伴う農地・農業用施設、林道の復旧等について、 所要額を計上する。

【通常分の施策領域と取組内容】

施策領域	取組内容
農林水産業	・担い手への農地集積と基盤整備・中山間地域農業の活性化・森林資源経営サイクルの構築・瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築
防災・減災	・ため池などの農地・農業用施設の防災力の強化 ・山地災害防止に向けた取組
中山間地域	・中山間地域農業の活性化〔再掲〕

Ⅲ 予算規模

1 総括表

【一般公共事業(補助公共事業·国直轄事業負担金·単独公共事業)】(単位: 百万円、%)

	区分	R 5 年度 予算額 A	R 4 年度 補正予算額 (国補正分) B	R 5 年度 当初予算額 C	R 6 年度 予算額 D	R 5 年度 補正予算額 (※ 4) (国補正分) E	R 6 年度 当初予算額 F	前年度 予算比 D/A
1	補助公共事業	11, 430	1, 823	9, 607	12, 859	2, 382	10, 477	112. 5%
通常	単独公共事業	1, 644	0	1, 644	1,870	0	1,870	113. 8%
分	小計	13, 074	1, 823	11, 251	14, 729	2, 382	12, 347	112. 7%
② 復	補助公共事業	1, 320	693	627	0	0	0	皆減
1日 • 復	国直轄事業負担金	441	0	441	461	0	461	104. 5%
異分	小計	1, 761	693	1, 068	461	0	461	26. 2%
_	-般公共事業 計	14, 834	2, 516	12, 318	15, 190	2, 382	12, 808	102. 4%

【災害復旧事業】

小計	4, 465	0	4, 465	4, 438	0	4, 438	99. 4%
過年発生災害復旧事業 (※2)	2, 315	0	2, 315	2, 288	0	2, 288	98.8%
現年発生災害復旧事業 (※1)	2, 150	0	2, 150	2, 150	0	2, 150	100.0%

【総合計】

総合計	19, 299	2, 516	16, 783	19, 628	2, 382	17, 246	101. 7%

- ※1) 令和6年度に災害が発生した場合の備え
- ※2) 過去に発生した災害からの復旧に要する費用
- ※3) 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。
- ※4) 令和5年度12月補正予算額(2月補正による国の内示整理を含む)

令和6年度予算額(当初予算額+国補正対応分)は

① **通常分** 147億2千万円余 (前年度予算比 112.7%)

② 復旧・復興分 4億6千万円余 (前年度予算比 26.2%)

災害復旧事業を除く一般公共事業(①+②)

151億9千万円余 (前年度予算比 102.4%)

総合計 (一般公共事業+災害復旧事業)

196億2千万円余 (前年度予算比 101.7%)

2 事業別の状況

(1)補助公共事業

令和6年度当初予算額は 104億7千万円余

令和5年度国補正対応分 23億8千万円余と合わせると、

令和6年度予算額の合計 128億5千万円余(前年度予算比 100.9%)

(うち通常分の前年度予算比 112.5%)

(単位:百万円.%)

(毕位:							日万円、%)
区分	R 5 年度 予算額 A	R 4 年度 補正予算額 (国補正分) B	R 5 年度 当初予算額 C	R 6 年度 予算額 D	予算額 (※3) (国補正分)		前年度 予算比 D/A
農業農村整備事業	7, 483	1, 564		7, 928		6, 101	105. 9%
漁場事業	226	0	226	254	0	254	112. 4%
治山事業	3, 152	693	2, 459	2, 453	208	2, 246	77. 8%
(うち通常分)	(1, 832)	(0)	(1, 832)	(2, 453)	(208)	(2, 246)	(133. 9%)
林道事業	1, 010	12	999	1, 368	0	1, 368	135. 4%
造林事業	878	247	631	855	347	508	97. 4%
合計	12,749	2,516	10,233	12,859	2,382	10,477	100.9%
(うち通常分)	(11,430)	(1,823)	(9,607)	(12,859)	(2,382)	(10,477)	(112.5%)

- ※1)治山事業以外はすべて通常分
- ※2) 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。
- ※3) 令和5年度12月補正予算額(2月補正による国の内示整理を含む)

(2) 国直轄事業負担金

令和6年度当初予算額 4億6千万円余(前年度予算比 104.5%)

(単位:百万円.%)

区分	R 5 年度	R 6 年度	前年度
	当初予算額	当初予算額	予算比
	A	B	B/A
治山事業	441	461	104. 5%

(3) 単独公共事業

令和6年度当初予算額の合計 18億7千万円余(前年度予算比 113.8%)

(単位・百万円 %)

		(半世.	日万円、%)
区分	R 5 年度 当初予算額 A	R6年度 当初予算額 B	前年度 予算比 B/A
農業農村整備事業	635	835	131. 5%
漁場事業	3	38	1266. 7%
治山事業	325	325	100.0%
林道事業	46	46	100.0%
その他 (栽培漁業センター長寿命化対策事業 緑化センター長寿命化対策事業)	210	182	86. 8%
単独建設事業 計	1, 219	1, 426	117. 0%
維持修繕事業	426	444	104.4%
合計	1, 644	1, 870	113.8%

[※] 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

Ⅳ 主な事業概要

① 復旧・復興分

国直轄事業負担金

○ 平成30年7月豪雨災害に伴う山地災害対策

(単位:百万円)

			(12:17:14)
事業名	R5当初	R6当初	R6事業概要
直轄治山事業費負担金	4 4 1	461	国が実施する治山施設整備の負担金を拠出

災害復旧事業

○ 令和3年7月・8月豪雨災害等に伴う災害復旧

(単位:百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R6事業概要		
過年発生災害復旧事業	2, 315	2, 288	被災した農地・農業用施設、林道を復旧		

② 通常分

補助公共事業

○ 防災・減災に資する、ため池のハード・ソフト対策

(単位:百万円)

事業名	R 5 当初 (R 4. 2補正)	R 6 当初 (R 5. 1 2補正)	R 6 事業概要
ため池等整備事業 (補強工事)	857 (189) (**1)	1, 023 (251) (<u>%</u> 1)	防災重点農業用ため池の補強工事を実施
ため池等整備事業 (廃止工事)	3 3 5	3 4 4	防災重点農業用ため池の廃止工事を実施
ため池等整備事業 (適正管理支援)	3 2	4 2	広島県ため池支援センターが実施する、防災 重点農業用ため池等の管理者に対する適正管 理の指導や、ため池の状態の監視等を支援

^{※1)} カッコ内は国補正分で外数 (R5.12 補正は2月補正による国の内示整理を含む)

○ 防災・減災に資する、山地災害対策

(単位:百万円)

事業名	R5当初	R6当初 (R5.12補正)	R 6事業概要
治山事業	1, 832	2, 246 (208) (<u>*</u> 1)	治山施設の整備等

^{※1)}カッコ内は国補正分で外数

○ 経営体の生産性向上に資する、スマート農業の導入等に適した基盤整備

(単位:百万円)

事業名	R 5 当初 (R 4. 2補正)	R 6 当初 (R5. 1 2補正)	R 6事業概要
ほ場整備事業	1, 313 (415) (**1)	1, 189 (1, 079) (**1)	鍋石地区(安芸高田市)など15地区で、区画 整理や暗渠排水工事等を実施

※1) カッコ内は国補正分で外数 (R5.12 補正は2月補正による国の内示整理を含む)

○ 木材生産等の低コスト化と木材安定供給のための間伐・路網の整備

(単位:百万円)

事業名	R 5 当初 (R 4. 2補正)	R 6 当初 (R 5. 1 2補正)	R 6 事業概要
森林整備事業 (林道比和・新庄線 トンネル開設工事)	0	5 2 5	年間 40 万m³の県産材が安定的に生産される 持続的な林業経営の実現に向けて、間伐や路
森林整備事業 (林道(その他) ・造林)	1, 629 (259) (%1))	1, 351 (347) (%1)	網を整備

^{※1)} カッコ内は国補正分で外数 (R5.12 補正は2月補正による国の内示整理を含む)

単独公共事業

○ 防災・減災に資する、ため池・治山施設等のハード・ソフト対策

(単位:百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R 6事業概要
ため池整備事業	480	690	防災重点農業用ため池等の補強工事等を実施
小規模崩壊地復旧事業	3 2 5	3 2 5	市町要望に基づき、治山施設を整備
治山施設機能強化事業	255	255	治山施設の管理・維持補修を実施

○ 公共施設の適正管理

(単位:百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R 6事業概要
栽培漁業センター長寿 命化対策事業	102	8 1	施設の長寿命化に向けた種苗生産設備の修繕 工事等を実施
緑化センター長寿命化 対策事業	108	101	施設の長寿命化に向けた外壁の修復及び屋上 の防水工事等を実施

V 復旧·復興、防災·減災関連事業

1 復旧・復興分

(単位:百万円、%)

区分	R 5 年度 予算額 A	R 4 年度 補正予算額 (国補正分) B	R 5 年度 当初予算額 C	R 6 年度 予算額 D	R 5 年度 補正予算額 (※ 2) (国補正分) E	R 6 年度 当初予算額 F	前年度 予算比 D/A	備考
平成30年7月豪雨災害	1, 761	693	1,068	461	0	461	26. 2%	
補助公共事業	1, 320	693	627	0	0	0	皆減	
治山事業	1, 320	693	627	0	0	0	皆減	県が実施する治山施設の整備 (被災箇所)
国直轄事業負担金	441	0	441	461	0	461	104. 5%	
治山事業	441	0	441	461	0	461	104. 5%	国が実施する治山施設の整備 (被災箇所)
令和3年7月・8月 豪雨災害等	2, 315	0	2, 315	2, 288	0	2, 288	98.8%	
災害復旧事業	2, 315	0	2, 315	2, 288	0	2, 288	98. 8%	農地・農業用施設、林道の復 旧
計	4, 076	693	3, 383	2, 748	0	2,748	67. 4%	_

^{※1)} 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。 ※2) 令和5年度12月補正予算額(2月補正による国の内示整理を含む)

2 防災・減災分

(単位:百万円、%)

								(単位:日万円、%)
区分	R 5 年度 予算額 A	R4度 補正予算額 (国補正分) B	R 5 年度 当初予算額 C	R 6 年度 予算額 D	R5年度 補正予算額 (※2) (国補正分) E	R 6 年度 当初予算額 F	前年度 予算比 D/A	備考
公共土木施設等の	2, 695	0	2, 695	3, 314	208	3, 106	123. 0%	
強靭化	2, 090	0	2,090	0,014	200	3, 100	123.0/0	
補助公共事業	1, 979	0	1, 979	2, 579	208	2, 372	130. 3%	
農業農村整備事業	147	0	147	126	0	126	85. 7%	海岸保全施設の整備等
治山事業	1, 832	0	1, 832	2, 453	208	2, 246	133. 9%	治山施設整備 (災害防止)
単独公共事業	716	0	716	734	0	734	102. 6%	
農業農村整備事業	135	0	135	154	0	154	113. 9%	海岸保全施設等の補修
治山事業	580	0	580	580	0	580	100.0%	市町が実施する治山施設の整 備等
ため池総合対策	2, 859	1, 143	1, 716	2, 926	747	2, 179	102. 3%	
補助公共事業	2, 379	1, 143	1, 236	2, 237	747	1, 489	94. 0%	
	966	954	12	576	496	80	59. 6%	ため池の詳細診断 ・R3~5: 劣化・豪雨診断 を重点実施 ・R6~ : 耐震診断を実施
農業農村整備事業	1, 046	189	857	1, 274	251	1,023	121. 9%	ため池の補強工事 (全面改修等)
	335	0	335	344	0	344	102. 7%	ため池の廃止工事
	32	0	32	42	0	42	133. 3%	広島県ため池支援センターの 運営
単独公共事業	480	0	480	690	0	690	143. 6%	
農業農村整備事業	480	0	480	690	0	690	143. 6%	ため池の補強工事 (部分改修等)
十	5, 554	1, 143	4, 411	6, 240	955	5, 285	112. 4%	

^{※1)}単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。 ※2)令和5年度12月補正予算額(2月補正による国の内示整理を含む)

VI 令和6年度当初予算・令和5年度補正予算の主な箇所の概要

1 農林水産業

(1)担い手への農地集積と基盤整備

ア 県営ほ場整備事業[農業農村]

区 分	事業概要
鍋 石 地 区 (安芸高田市)	<全体計画> 事業内容:区画整理34.3ha 事業期間:平成29年度~令和8年度 成果目標:スマート農業の導入や農地集積等による生産性の向上 <令和6年度の事業概要> 事業内容:区画整理工7.0ha

イ 県営ほ場整備事業[農業農村]

区分	事 業 概 要
西大田地区(世羅町)	< 全体計画> 事業内容: 区画整理 43.0 h a 事業期間: 令和 2 年度~令和 7 年度 成果目標: スマート農業の導入や農地集積等による生産性の向上 < 令和 6 年度の事業概要> 事業内容: 区画整理工 12.3 h a

(2) 中山間地域農業の活性化

ア 広域営農団地農道整備事業[農業農村]

区分	事 業 概 要
芸北3期地区(北広島町)	<全体計画> 事業内容:道路工 L=4,300m 事業期間:平成21年度~令和7年度 成果目標:生産地と輸送拠点等との連結による物流の効率化 <令和6年度の事業概要> 事業内容:トンネル照明・非常用設備工事

イ 基幹農道整備事業[農業農村]

区分	事 業 概 要
安芸灘3期地区(呉市)	<全体計画> 事業内容: 耐震補強・補修2橋(蒲刈大橋、豊浜大橋) 事業期間: 令和4年度~令和8年度 成果目標: 既存渡海橋の耐震補強・補修による農産物の安定的な 輸送機能の維持
	<令和6年度の事業概要> 事業内容:耐震補強1橋(蒲刈大橋)

(3) 森林資源経営サイクルの構築

ア 幹線林道整備事業[林道]

区分	事業概要
茂 田 工 区 (比和・新庄線) (君田・布野区間)) (三 次 市)	〈全体計画〉 事業内容:道路工 L=5,443m 事業期間:平成24年度~令和8年度 成果目標:木材搬出量の増、木材市場等へのアクセス向上 〈令和6年度の事業概要〉 事業内容:トンネル開設工事 L=509m

(4) 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

ア 漁場環境保全創造事業[漁場]

区分	事 業 概 要
中西部・備後 燧 地区 (江田島市・三原市)	<全体計画> 事業内容:増殖場(藻場造成) A=14.0h a 事業期間:令和4年度~令和8年度 成果目標:藻場造成による水産資源の増大 藻場干潟等による漁場環境保全機能の維持
	<令和6年度の事業概要> 事業内容:増殖場(藻場造成) A=1.6ha(江田島市) 増殖場(藻場造成) A=1.2ha(三原市)

2 防災・減災

(1) ため池などの農地・農業用施設の防災力の強化

ア 県営ため池等整備事業[農業農村]

区分	事業概要
ため 注 細 診 関	

イ 県営ため池等整備事業[農業農村]

区分	事 業 概 要
堂 迫 池 地 区 (庄 原 市)	<全体計画> 事業内容: 堤体の改修 事業期間: 令和2年度~令和7年度 成果目標: ため池下流住民の安全安心の確保、農業用水の安定的供給 <令和6年度の事業概要>
	事業内容: 堤体の改修

ウ 県営ため池等整備事業「農業農村」

区分	事業概要
広島県ため池 支援センター の 運 営	<全体計画> 事業内容:防災重点農業用ため池(6,799 箇所)等の適正な管理体制の構築 設置時期:令和3年度 成果目標:ため池下流住民の安全安心の確保、農業用水の安定的供給 <令和6年度の事業概要> 事業内容:防災重点農業用ため池の経過観察(パトロール)ため池の管理者に対する適正管理のための指導等

(2) 山地災害防止に向けた取組

ア 山地治山事業[治山]

	<u> </u>	
区	分	事業概要
小 畑 (東広	地	<全体計画> 事業内容: 渓間工 2基 区 事業期間: 令和5年度~令和6年度 成果目標:下流保全対象の安全確保(人家10戸、市道)
		< 令和6年度の事業概要> 事業内容: 渓間エ 1基